

高知県感染症発生動向調査（月報）

2020年8月

高知県感染症情報センター

高知県衛生環境研究所

TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>

E-mail: 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

全国情報

第32週(8月3日～)から第35週(～8月30日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における8月の上位6疾患の合計は13.83で7月の16.62と比べて減少した。新型コロナウイルス対策としての活動自粛と衛生管理により、4月・5月と感染症が顕著に減少し、6月・7月と自粛マインドの緩和とともに感染症が増加していたが、8月は再び減少に転じた。夏の感染症であるヘルパンギーナと手足口病も例年に比べて低い数値で推移している。三密を避け、マスク・手洗いを励行することにより、日常感染症の減少が続いている。衛生仮説 (Hygiene Hypothesis) が事実とすれば、アレルギー疾患の増加や重症化が目立ってくるのであろうか？

1位は感染性胃腸炎で6.47(7月1位4週間換算値8.27)と減少した。2位がヘルパンギーナで2.04(同4位1.31)と唯一増加した。3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で2.03(同2位3.42)と減少した。4位が突発性発疹で1.81(同3位2.16)と少し減少した。5位は流行性角結膜炎で0.85(同5位0.78)、6位は咽頭結膜熱で0.63(同6位0.68)といずれも横ばいであった。

〈新型コロナウイルス感染症 COVID-19〉

世界の患者数は図1左に示すように増加し、9月2日には2,570万人に達し、死亡者は856,692人となり、全世界に感染拡大し、加速度を増している。患者数を国別で見ると、1位米国、2位ブラジル、3位インド、4位ロシア、5位ペルー、6位南アフリカ、7位コロンビア、8位メキシコ、9位スペイン、10位アルゼンチンとなっている。

日本の患者数を図1右に示す。5月6月は増加に歯止めがかかったものの、自粛緩和を契機に7-8月と感染拡大が加速し、9月2日時点で69,001人となった。一方で、国内の死亡者は12人/80人/621人/894人/974人/1,022人/1,307人と推移し、感染者数増加の割に死亡者数が増えていない。その理由として、20代、30代の感染者が多数を占め、重篤となりやすい高齢者の感染が抑制されていることが主因と考えられる。高齢感染者が増加していかないかという点を監視することが重要なので、年齢層別の患者数を1か月ごとに集計したグラフを図2に示す。年代層別の患者比率を図3に示す。6/10(A)と7/1時点(B)の比率構成はよく似ているが、8/5時点(C)では20代の比率が著増した結果高齢者比率は減少していることがわかる。この傾向は9/2時点(D)でも同様である。患者数が増えて、高齢者の患者比率が一定であれば、結果的には重症例や死亡例の増加がもたされるだろう。今後は、高齢者比率が下がり、実数の増加も抑えることが望まれる。

なお、図に表示された厚労省HPの各数値は、個々の集計方法のちがいがから数に不一致があるので、飽くまで参考として参照されたい。

〈風疹〉

2018年からの風疹の国内流行がようやく終息したようである。風疹は2018年に累積で2,941例、2019年には2,306例が報告された。2020年第33週までの報告数は85人である。コロナ自粛の副産物であったろう。予防接種機会がなかった40～57歳の男性を対象に、抗体検査を前置きした上での定期接種(第5期と呼ばれ、麻しん風しん混合ワクチンが使用される)が2019年4月から実施中なので、対象者はこの機会を活用してほしい。

表1 各週定点当たり報告数（全国）

No	疾病名	週	32週	33週	34週	35週	計
1	感 染 性 胃 腸 炎		1.77	1.09	1.80	1.81	6.47
2	へ ル パ ン ギ ー ナ		0.73	0.39	0.41	0.51	2.04
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.63	0.35	0.53	0.52	2.03
4	突 発 性 発 疹		0.47	0.33	0.49	0.52	1.81
5	流 行 性 角 結 膜 炎		0.22	0.14	0.25	0.24	0.85
6	咽 頭 結 膜 熱		0.17	0.13	0.18	0.15	0.63

県内情報

1. 全国との対比（定点当たり報告数）

高知県の8月の上位6疾患の合計は13.28と7月の4週間換算値14.41と比べて横ばい（10%未満の減少）であった（表2）。全国同様に、際立って増加するような疫学的に注目される感染症は見当たらない。これは新型コロナウイルスのパンデミック以降の共通の傾向である。

1位は感染性胃腸炎で4.69（同1位5.75）と少し減少し全国よりも少なかった。2位は手足口病で2.36（同2位2.89）と減少したが、全国よりも多かった。3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で1.97（同3位1.97）と横ばいで全国と同等だった。4位は咽頭結膜熱で1.90（同5位1.26）と増加し、全国よりも多かった。5位は

突発性発疹で1.50（同4位1.62）と横ばいで全国よりも少なかった。6位は水痘で0.86（同7位0.82）と横ばいで全国よりも多かった。

COVID-19は、高知県では、2月29日～3月8日に12例が報告され、その後19日間は報告が途絶えた。第2波は3月27日に始まり、連日新規患者が報告され4月29日までに62例が加わり、合計74例になった。4月16日から5月14日まで本県を含む全国に緊急事態宣言が発せられた。高知県は5月14日以降に、学校、公共機関、飲食等の活動が再開され、全国の感染拡大の中、他県と比べて経済重視すなわち人的往来に寛容な対応をとっているといえるだろう。8月以降では9月2日までに49例の患者発生があり、夏休み・お盆休みの人の往来を反映して患者が増加した。特筆すべきは、社会福祉施設でのアウトブレイク発生と、救急医療の現場で複数の医療者への感染が起きたこと、その影響で救急業務およびへり搬送に支障を来したことである。いずれも、適正な感染予防対策を講じられていたことから、今後に向けての課題を投げかける事例となった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	32週	33週	34週	35週	計
1	感 染 性 胃 腸 炎		1.29	0.93	0.93	1.54	4.69
2	手 足 口 病		1.00	0.36	0.36	0.64	2.36
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.61	0.46	0.54	0.36	1.97
4	咽 頭 結 膜 熱		0.79	0.46	0.54	0.11	1.90
5	突 発 性 発 疹		0.29	0.29	0.46	0.46	1.50
6	水 痘		0.11	0.32	0.18	0.25	0.86

図1. 2020年9月2日時点のCOVID-19(厚生労働省)

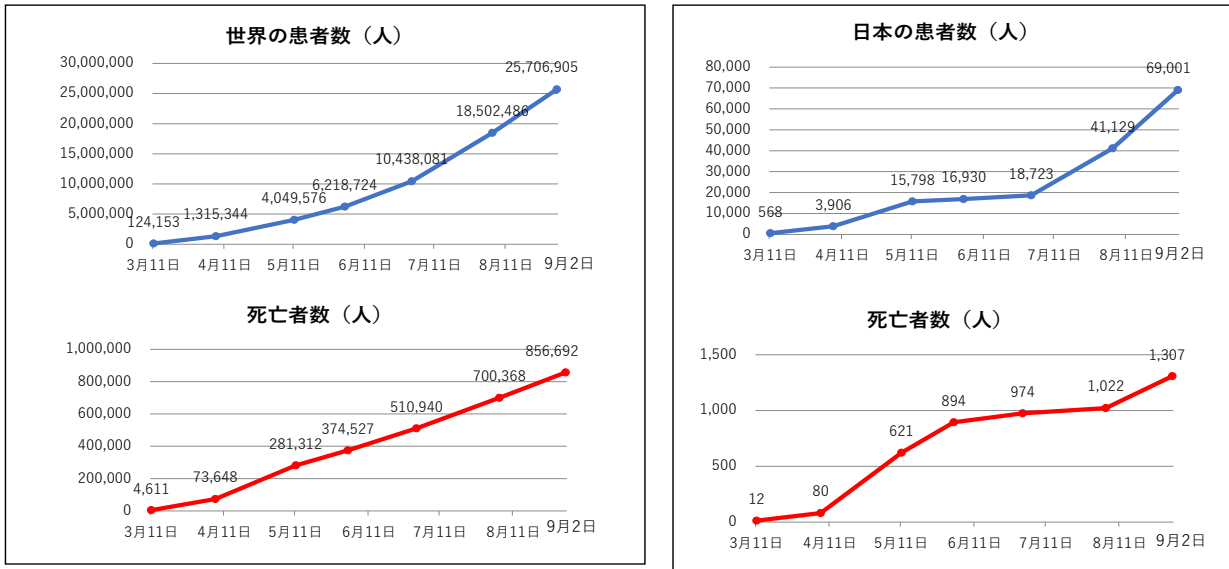


図2. COVID-19年齢層別感染者数

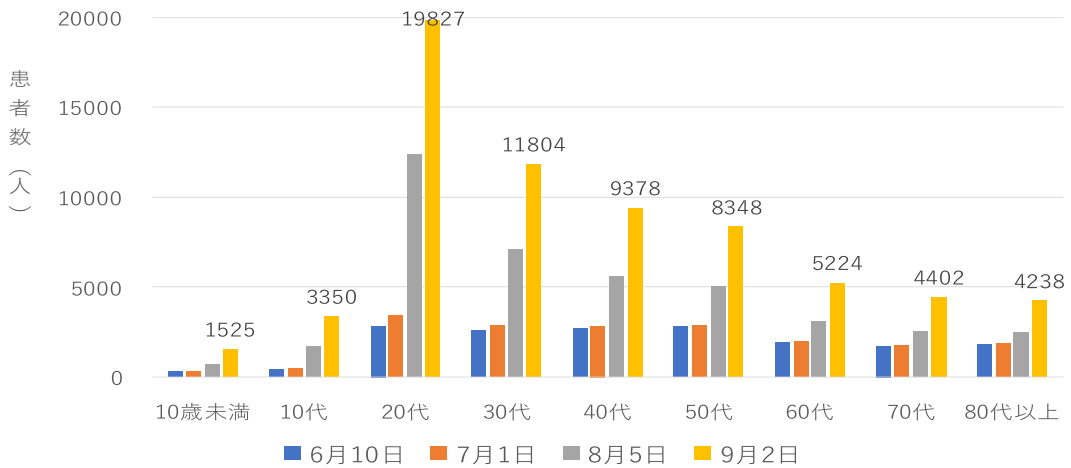
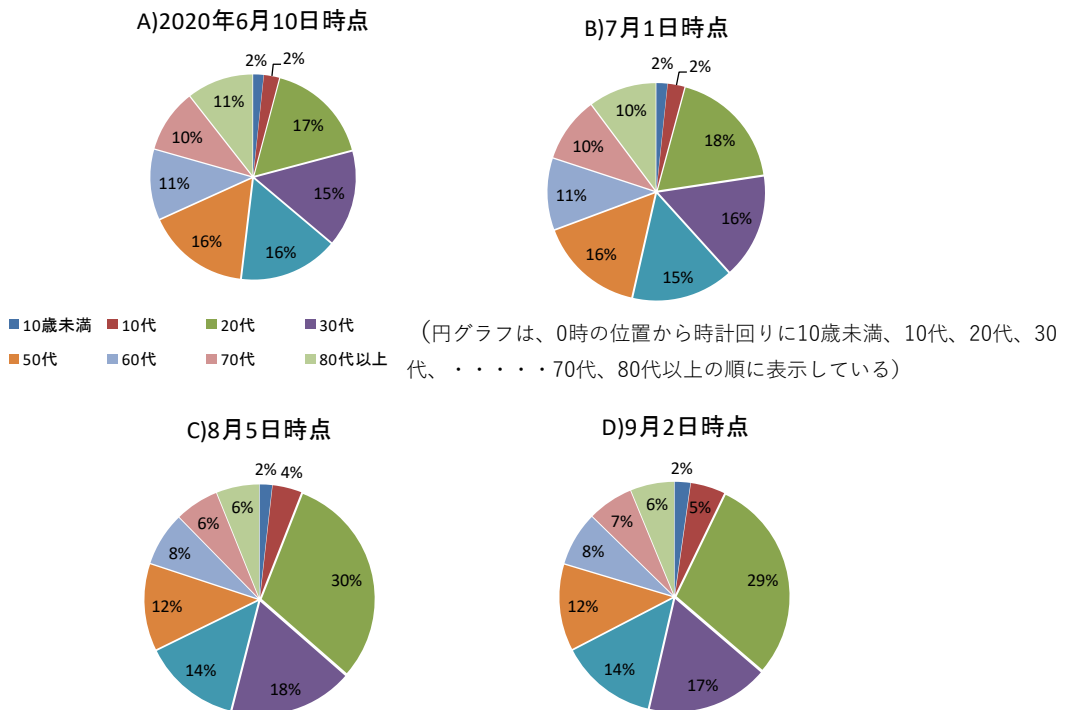


図3. 日本での1か月ごとの年代層別COVID-19患者数比率



※年齢階級の報告数について都道府県等から厚生労働省が情報を得られたものを集計しており、総患者数については各自治体がウェブサイト公表している数を積み上げているため一致していません。

高知県の発生状況(8月以降)

	公表日時	年代・性別	管轄保健所	職業	備考
81例目	8月2日	60歳代・男性	高知市	飲食店勤務	
82例目	8月3日	50歳代・女性	高知市	サービス業	81例目の濃厚接触者
83例目	8月7日	70歳代・女性	高知市	無職	
84例目	8月15日	40歳代・男性	高知市	無職	
85例目	8月15日	40歳代・男性	高知市	無職	
86例目	8月15日	20歳代・女性	愛知県(中央東)	無職	愛知県陽性者の濃厚接触者
87例目	8月15日	10歳未満・女性	愛知県(中央東)	—	愛知県陽性者の濃厚接触者
88例目	8月15日	70歳代・男性	高知市	無職	85例目の濃厚接触者
89例目	8月15日	40歳代・男性	高知市	無職	84例目、85例目の濃厚接触者
90例目	8月15日	40歳代・男性	高知市	無職	84例目、85例目の濃厚接触者
91例目	8月15日	80歳代・男性	高知市	無職	84例目、85例目の濃厚接触者
92例目	8月15日	40歳代・男性	高知市	無職	84例目、85例目の濃厚接触者
93例目	8月15日	60歳代・男性	高知市	社会福祉施設職員	84例目、85例目の濃厚接触者
94例目	8月15日	20歳代・男性	高知市	社会福祉施設職員	84例目、85例目の濃厚接触者
95例目	8月15日	30歳代・男性	高知市	社会福祉施設職員	84例目、85例目の濃厚接触者
96例目	8月15日	40歳代・男性	高知市	社会福祉施設職員	84例目、85例目の濃厚接触者
97例目	8月15日	50歳代・女性	高知市	社会福祉施設職員	84例目、85例目の濃厚接触者
98例目	8月16日	40歳代・男性	高知市	無職	84例目、85例目の濃厚接触者
99例目	8月16日	40歳代・男性	高知市	無職	84例目、85例目の濃厚接触者
100例目	8月16日	70歳代・女性	高知市	社会福祉施設職員	84例目、85例目の濃厚接触者
101例目	8月16日	30歳代・男性	高知市	医療従事者	福岡県陽性者の濃厚接触者
102例目	8月16日	70歳代・女性	高知市	無職	97例目の濃厚接触者
103例目	8月17日	40歳代・男性	高知市	無職	84例目、85例目の濃厚接触者
104例目	8月19日	60歳代・男性	中央東	会社員	86例目、87例目の濃厚接触者
105例目	8月19日	50歳代・男性	高知市	無職	84例目、85例目の濃厚接触者
106例目	8月21日	20歳代・男性	高知市	会社員	
107例目	8月22日	60歳代・男性	高知市	会社員	
108例目	8月23日	40歳代・女性	高知市	会社員	107例目の濃厚接触者
109例目	8月23日	30歳代・男性	高知市	自営業	
110例目	8月26日	30歳代・女性	須崎	自営業	
111例目	8月26日	10歳未満・男性	須崎	—	
112例目	8月26日	30歳代・男性	須崎	自営業	
113例目	8月26日	60歳代・女性	高知市	無職	110例目の濃厚接触者
114例目	8月26日	30歳代・男性	高知市	自営業	110例目の濃厚接触者
115例目	8月26日	10歳未満・男性	高知市	小学生	110例目の濃厚接触者
116例目	8月26日	10歳未満・男性	高知市	小学生	110例目の濃厚接触者
117例目	8月26日	20歳代・女性	高知市	医療機関職員	110例目の濃厚接触者
118例目	8月26日	60歳代・女性	中央西	無職	110例目の濃厚接触者
119例目	8月28日	50歳代・男性	高知市	社会福祉施設職員	84例目、85例目の濃厚接触者
120例目	8月29日	20歳代・男性	高知市	医師	111例目の濃厚接触者
121例目	8月29日	20歳代・男性	高知市	会社員	110例目の濃厚接触者
122例目	8月29日	50歳代・女性	高知市	小学校教諭	
123例目	8月29日	40歳代・女性	高知市	看護師	111例目の濃厚接触者
124例目	8月29日	30歳代・女性	高知市	看護師	111例目の濃厚接触者
125例目	8月30日	40歳代・男性	高知市	無職	84例目、85例目の濃厚接触者
126例目	9月1日	30歳代・女性	中央東	看護師	124例目の濃厚接触者
127例目	9月1日	60歳代・男性	中央西	会社員	112例目の濃厚接触者
128例目	9月1日	40歳代・女性	高知市	無職	123例目の濃厚接触者
129例目	9月2日	10歳未満・男性	高知市	小学生	128例目の濃厚接触者

2. 全体の傾向

麻疹、風疹の報告無し。

3. 主な疾患の発生状況

COVID-19のため、3月から7月までSARS-CV-2以外の病原体検出が中断されていたが、保存されていた検体からの病原体検出の結果報告が8月に再開された。

1) インフルエンザ

報告数 0名 (7月 0名)。昨季は対コロナの自粛も手伝い小さな流行に終わり終息した。例年夏に流行がみられる沖縄県においても、今年は報告がない。2月に採取された検体からAH1pdm09とB/Victoriaが各1件検出された。

2) 咽頭結膜熱

報告数 53名 (7月 44名)。例年並の報告数である。須崎、高知市、幡多、中央西、中央東から表記の順に多く報告があった。4月、6月に採取された糞便検体からAdenovirus 2型が各1件、7月に採取された同一人物の便とぬぐい液両方からAdenovirus NTが1件検出された。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 55名 (7月 69名)。2019年9月から2020年2月にかけて多い数字で推移したが、3月以降は減少し例年並みに落ち着いている。県下全域から報告され、特に高知市、安芸から報告が多かった。細菌は検出されていない。

4) 感染性胃腸炎

報告数 131名 (7月 201名)。もともと少ない数字で推移し、2月に増加して平年並みとなっていたが、3月以降は、過去10年で最低の報告数で推移している。県下全域から報告があり、特に高知市、安芸、幡多の順に多かった。検出情報では2月に採取されたぬぐい液からRhinovirusが1件、上述のAdenovirus以外では、臨床診断名は「その他」になるが6月に採取された糞便からParechovirus1型が1件検出された。

5) 水痘

報告数 24名 (7月 29名)。2014年10月からの予防接種定期化の効果で少ない数で推移している。高知市、中央東、幡多、中央西から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

6) 手足口病

報告数 66名 (7月 101名)。6月以降に増加が続いたが減少に転じ、今季の流行規模は大きくない。安芸以外から報告され、特に多かったのは須崎、中央西、高知市である。Coxsackievirus A16が流行株で、2月、3月と各1件、7月は4件検出された。

7) 伝染性紅斑

報告数 10名 (7月 12名)。2019年7月以降は多い報告数で推移している。特に10月は過去10年間で最多の報告数(時期を問わず)を記録した。安芸以外の全域から報告され、特に中央西が多かった。ウイルスは検出されていない。

8) 突発性発疹

報告数 42名 (7月 57名)。想定内の変動で推移している。

9) ヘルパンギーナ

報告数 15名 (7月 15名)。5月以降小幅な増加で本格的な流行には至っていない。幡多以外の全域から報告があった。ウイルスは検出されていない。

10) 流行性耳下腺炎

報告数 8名 (7月 7名)。幡多、中央東、高知市から表記の順に多く報告された。2月に採取された検体からMumps virusが1件検出された。

11) RSウイルス感染症

報告数 0名 (7月 0名)。2020年は3月以降減少し少数にとどまっている。過去3年続けて流行開始が早く、

8月の報告数は2017年以降、270名、126名、233名と多い数字で推移し、従来に比べて流行時期が1カ月程度早まる傾向が続いた。今年はコロナ自粛の効果もあってか、RSウイルス流行の気配はまだない。

12) 流行性角結膜炎

報告数 2名 (7月 2名)。高知市から2名報告された。ウイルスは検出されていない。

13) 細菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 0名 (7月 0名)。1年に10名前後の報告で推移していたが、2017年6名、2018年5名、2019年2名と減少傾向である。乳児を対象としたHibと肺炎球菌ワクチンの定期接種がはじまって以降はこれらを原因とする小児例の報告は皆無であり、成人例も近年減少している。

14) 無菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 0名 (7月 0名)。年間20-30名台の報告数で推移していたが、2017年7名、2018年1名、2019年5名、2020年は1名と報告が少ない。

15) マイコプラズマ肺炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 2名 (7月 9名)。高知市から2名報告された。細菌は検出されていない。

基幹定点の月報疾患

16) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 14名 (7月 23名)。平年並の推移である。幡多=中央東、高知市、安芸の順に多く検出された。

17) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名 (7月 0名)。2014年は計4例、2015年、2016年は各1例、2017年は2例、2018年は1例、2019年は2例の報告があり、2020年は0例である。

高知県感染症発生動向調査部会
前田 明彦

高知県における月別全数報告疾患 (令和2年8月)

類型	病名	報告月								総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
2	結核	5	5	8	3	6	9	3	7	46
4	E型肝炎								1	1
	重症熱性血小板減少症候群			1	1	1				3
	日本紅斑熱				5	6	3	4	3	21
	レジオネラ症	1					1	2	3	7
5	ウイルス性肝炎						1		1	2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		2		1			2	6
	急性脳炎		1							1
	クロイツフェルト・ヤコブ病							1		1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1								1
	後天性免疫不全症候群	2				1			1	4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1				1
	侵襲性肺炎球菌感染症	5	1	2			1		1	10
	水痘(入院例に限る)	1				1		1		3
	梅毒	1		3	3	3			3	13
	破傷風		1			1				2
	百日咳	9	8	7	4	1	1	1	1	32
	指定感染症	新型コロナウイルス感染症			12	36	26		2	
	総計	26	16	35	52	48	16	14	23	230

高知県感染症情報 月報(63定点医療機関)

2020年

8月

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ									1
小児科	咽頭結膜熱		3	27	2	7	14	53	44	172
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	8	30	4	3	5	55	69	139
	感染性胃腸炎	9	19	74	6	4	19	131	201	294
	水痘		5	15	1		3	24	29	33
	手足口病		9	32	14	10	1	66	101	177
	伝染性紅斑		1	2	5	1	1	10	12	80
	突発性発疹	1	11	21	1	4	4	42	57	65
	ヘルパンギーナ	1	5	6	2	1		15	15	70
	流行性耳下腺炎		2	2			4	8	7	4
	RSウイルス感染症									233
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			2				2	2	5
STD	性器クラミジア感染症			6				6		
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ								3	1
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎									
	無菌性髄膜炎									1
	マイコプラズマ肺炎			2				2	9	12
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに 限る)			1				1	1	1
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	2	9			2	14	23	21
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計		17	65	229	35	30	53	429	573	1,309
前月		22	111	280	48	30	82			
前年同月		60	214	628	55	93	259			
小児科定点数		2	7	9	3	2	5			

高知県感染症情報 月報(63定点医療機関)

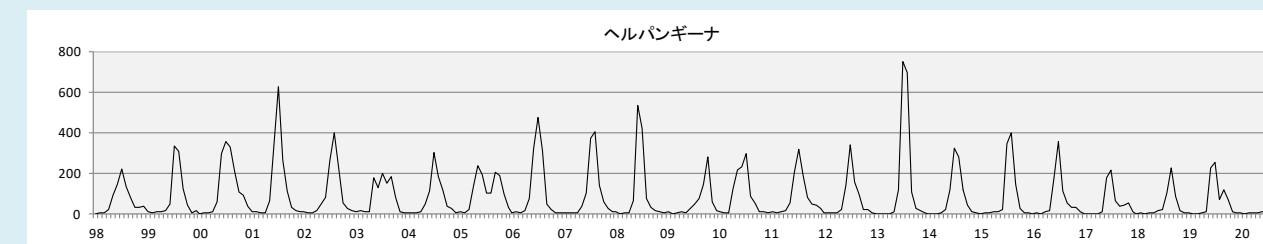
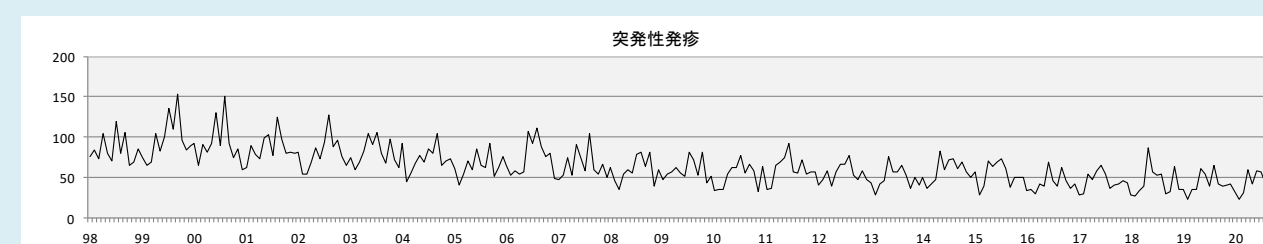
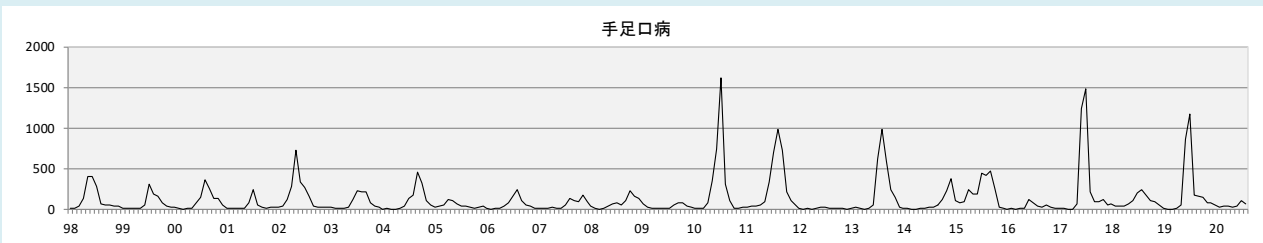
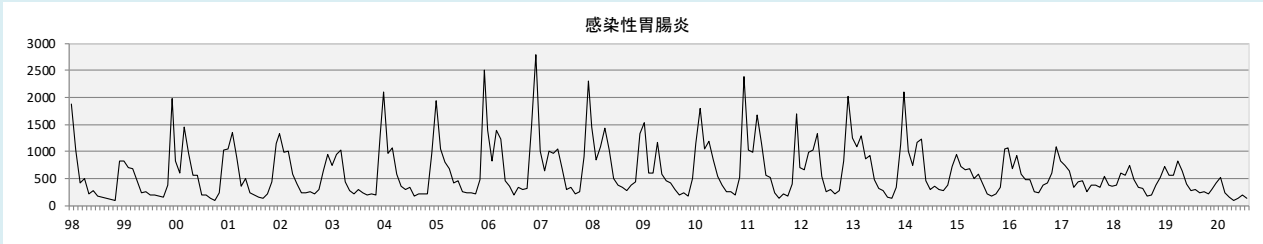
2020年

8月

定点当たりの人数

定点名	保健所 疾病名	保健所						計	前月	前年同月	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				
内科・小児科	インフルエンザ									0.02	
小児科	咽頭結膜熱		0.43	3.00	0.66	3.50	2.80	1.90	1.57	5.74	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.50	1.14	3.33	1.33	1.50	1.00	1.97	2.46	4.64	
	感染性胃腸炎	4.50	2.71	8.23	2.01	2.00	3.80	4.69	7.19	9.80	
	水痘		0.72	1.66	0.33		0.60	0.86	1.03	1.10	
	手足口病		1.29	3.56	4.67	5.00	0.20	2.36	3.61	5.91	
	伝染性紅斑		0.14	0.22	1.66	0.50	0.20	0.37	0.43	2.66	
	突発性発疹	0.50	1.57	2.34	0.33	2.00	0.80	1.50	2.03	2.17	
	ヘルパンギーナ	0.50	0.72	0.66	0.66	0.50		0.54	0.53	2.32	
	流行性耳下腺炎		0.29	0.22				0.80	0.29	0.25	0.13
	RSウイルス感染症										7.76
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎			2.00				0.66	0.66	1.67	
STD	性器クラミジア感染症			3.00				1.00			
	性器ヘルペスウイルス感染症										
	尖圭コンジローマ								0.50	0.17	
	淋菌感染症										
基幹	細菌性髄膜炎										
	無菌性髄膜炎									0.13	
	マイコプラズマ肺炎			0.40				0.26	1.15	1.52	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)			0.20				0.13	0.13	0.13	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.00	2.00	1.80			2.00	1.75	2.88	2.63	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症										
	薬剤耐性緑膿菌感染症										
小児科定点分計		8.00	9.01	23.22	11.65	15.00	10.20	14.48	19.10	42.25	
前月		10.50	15.28	27.62	15.98	15.00	16.00				
前年同月		27.50	30.01	54.53	18.31	46.25	51.00				

注目される疾患別月別推移



臨床診断名	病原微生物	2020年								2020年総
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
伝染性紅斑	Human herpes virus 6		1							1
	Human herpes virus 7	1	1							2
	Human parvovirus B19	1								1
	計	2	2							4
流行性耳下腺炎	Mumps virus	2	3							5
	Mumps virus(ワクチン株)									
	計	2	3							5
無菌性髄膜炎	Coxsackievirus B4									
	Coxsackievirus B5	1								1
	計	1								1
水痘	Human herpes virus 7		1							1
	Varicella-zoster virus		2							2
	計		3							3
突発性発疹	Human herpes virus 6		1							1
	Rhinovirus									
	計		1							1
その他	Adenovirus 1	2								2
	Adenovirus 2							2		2
	Adenovirus NT							1		1
	Coxsackievirus A4	1								1
	Coxsackievirus A16	1	1							2
	Cytomegalovirus							1		1
	Echovirus 30		1							1
	Epstein-Barr virus		1							1
	Human herpes virus 6	6	6					1		13
	Human herpes virus 7	4	1							5
	Human metapneumovirus		2							2
	Human parvovirus B19	1								1
	Influenza virus A H1pdm09	2								2
	Influenza virus B /Victoria	1								1
	Norovirus GII NT		1							1
	Parechovirus 1							1		1
	Respiratory syncytial virus A	1	2							3
	Rhinovirus	2	1	2						5
	Sapovirus genogroup unknown	1								1
	計	22	16	2				6		46
総計	77	50	6				11		144	

類型	病名	報告年																			総計			
		1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017		2018	2019	2020
2	結核									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	46	1796
	計									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	46	1796
3	コレラ	1					1						1											3
	パラチフス	2																						2
	細菌性赤痢	11	4	2		3	1	2	2											2				27
	腸チフス		1						1								1					1		4
	腸管出血性大腸菌感染症	11	8	18	15	2	10	9	3	25	4	19	12	3	8	3	5	2	34	2	4	9		206
	計	25	13	20	15	5	12	11	6	25	4	19	13	3	8	3	5	3	34	4	4	10		242
4	A型肝炎	3	5	3	2	4	2	1	4	1			3					3	1				2	34
	Q熱	1	1	2					1															5
	オウム病			1		1														1				3
	つつが虫病		9	5	2	4	5	7	6	2	5	4	2	5	8	3	3		4	11	2	3		90
	マラリア								2					1								1		4
	レジオネラ症		2		1		1				9	7	3	6	9	2	4	4	3	6	9	7	7	80
	日本紅斑熱	15	3	14	7	14	13	10	3	1	6	7	15	4	1	7	4	13	6	13	10	21		193
	日本脳炎	1	1	1					1			1	1											6
	レプトスピラ症											1	4	2	1					1				9
	E型肝炎											1		1								2	1	5
	デング熱											1				3	2	1				2		9
	重症熱性血小板減少症候群															3	11	3	7	5	5	9	3	46
	計	20	21	26	12	23	21	19	16	4	20	19	18	31	24	13	27	15	28	30	29	36	32	484
5	ア메ーバ赤痢		2	2	2	1	2	2	2	1		3	2	3		7	3	2	5	3	3			47
	ウイルス性肝炎	11	4	3	5	2	2	3	5	5	4	3	3		3		1		2	1	1	2		60
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症																7	19	21	22	21	20	6	116
	急性弛緩性麻痺																					1	2	3
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	4		4	3	3		6		1	3				2			2	1	1	1	33
	ジアルジア症		1	2	1									1	1						1			8
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1								1						1		1	1			5
	急性脳炎								1	1	2	5	1	3	1		1	1	1	1		2	1	21
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1	1	1				1		1	1	1	3		1	3	5	6	2	1		27
	後天性免疫不全症候群	2		2		2	4	2	3	6	3	3	2	3	3	2	7	6	9	6	9	1	4	79
	侵袭性インフルエンザ菌感染症																1	5	3	4	7	3	1	24
	侵袭性肺炎球菌感染症															1	4	12	16	18	14	22	10	97
	水痘(入院例に限る)																	2	1	1	3		3	10
	播種性クリプトコックス症																		1	3	5			9
	髄膜炎菌性髄膜炎									1														1
	破傷風		3	2	2	1		1	1	2	3	1	1	1	1		4	3	3	1		2	2	34
	梅毒	2	3	4	4	12	9	6	27	6	5	5	2	4	10	8	4	11	12	23	19	20	13	209
	百日咳																					173	172	377
	麻しん										5													5
	風しん										1	1			4	9	1				3			19
	計	16	14	21	15	23	20	17	39	29	25	23	14	15	29	20	40	63	72	94	268	251	76	1184
指定	新型コロナウイルス感染症																							76
	計																							76
新型	新型インフルエンザ																							34
	計																							34
動物	鳥インフルエンザ																							1
	計																							1
	総計	61	48	67	42	51	53	47	61	189	198	258	201	242	193	164	210	210	256	238	398	400	230	3817